

単位数	4単位	学科・学年・学級	普通科・2学年・ABCD組
教科書	改訂版 詳説日本史B (山川出版社)	副教材等	最新日本史図表五訂版 (第一学習社)

1 学習の到達目標

- 1、我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、日本を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させる。
- 2、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	第1章 日本文化のあけぼの	1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権	<ul style="list-style-type: none"> ・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 ・律令に基づく国内統治体制について理解する。 ・天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。 ・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート（プリント）提出 ・定期考査
	5	第2章 律令国家の成立	1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安王朝の形成 中間考査		
前期	6	第3章 貴族政治と国風文化	1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。 ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 ・律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。 ・地方の反乱と鎮圧など、武士の成長と進出過程について、源氏などを例にとって考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート（プリント）提出 ・定期考査
	7	第4章 中世社会の成立	1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化 期末考査		
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	9	第5章 武家社会の成長	1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	<ul style="list-style-type: none"> ・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。 ・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート（プリント）提出

	10				・定期考査
			中間考査		
後期	11	第6章 幕藩体制の成立	1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造	<ul style="list-style-type: none"> ・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。 ・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 ・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。 ・江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではなく、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。 ・幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート（プリント）提出 ・定期考査
	12			期末考査	
学期	月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	1	第7章 幕藩体制の展開	1 幕政の安定 2 経済の発展 3 元禄文化	<ul style="list-style-type: none"> ・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 ・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 ・経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度、取り組み ・ノート（プリント）提出 ・定期考査
	2				
	3				学年末考査

3 評価の観点

関心・意欲・態度	歴史的事象に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。
思考・判断・表現	歴史的事象から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能	歴史的事象に関する資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。

4 評価の方法

授業中の取り組みや態度、ノート（プリント）などの提出物、定期考査の成績などから総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

日本の歴史は、私達の身近な先祖の歴史でもあります。どのようにして現代の社会へとつながっていくのか、先人達の歩みを探ってまいりましょう。単なる語句の群れではなく、時代や人々のつながりを意識して学ぶようにしてください。